Performance Qualification

稼動時適格性確認(PQ)

（水分計用）

A&D Company, Limited

稼動時適格性確認(PQ)

目次

	ページ
1. 稼動時適格性確認の説明	3
2. 機器情報	4
3. 校正に用いる標準分銅について	5
4. PQ チェックシート	6
5. 検査者	7

Copyright©2006 A&D Co.,Ltd.

稼動時適格性確認(PQ)

1. 稼動時適格性確認の説明

稼動時適格性確認では、機器が一貫して使用目的に適した性能を維持していることを検証し、その結果を文書化する。これにより、日々の計測において、機器が一貫して信頼性の高い、正確な計測を行なっていることを確認することができる。以下、稼動時適格性確認での検査項目について記す。

1.1　検査前の準備

- 水分計が水平に設置されているか確認し、必要であれば調整する。
- 質量検査には、機器に適したクラスの、トレーサブルな標準分銅を使用。
- 標準分銅は使用前に周囲温度になじませる。

1.2　校正に用いる標準分銅について

トレーサブルな標準分銅を用い、その管理に必要な情報について記録する。

1.3 検査について

- 検査頻度の決定（毎日、毎週、毎月など）。
- 検査結果の誤差が、必要とされる許容範囲内であれば合否欄に合格、許容範囲を超えてしまった場合は不合格と記入する。
- 不合格となった場合は、再度試験を実施する。再試験でも許容範囲を超えてしまう場合は、機器の使用を中止し、すみやかに機器の管理者に報告する。

＜質量検査＞

- 計量皿に何も載っていない状態で、表示がゼロになっていることを確認する。必要であればゼロを取る。
- 標準分銅を計量皿の中央に載せ、表示値を記録する。

＜水分率検査＞

酒石酸ナトリウム二水和物（$Na_2C_4H_4O_6 \cdot 2H_2O$）を用いて水分計の性能確認を行なう。酒石酸ナトリウムには理論値で 15.66%の水分が含まれている（保管状態によって変化することがあります）。取扱説明書に記載されている測定条件にて試験し、15.0%-16.0%の水分率が得られれば正常とする。

稼動時適格性確認(PQ)

2. 機器情報

水分計本体

製造者	機器の受取日
モデル	**シリアル番号**
最大ひょう量	**設置場所**
最小表示	**管理者**

備考：

オプション・アクセサリー

部品番号	名称	シリアル番号

備考：

稼動時適格性確認(PQ)

3. 校正に用いる標準分銅について

分銅番号	OIML クラス	校正日	認証番号

稼動時適格性確認(PQ)

4. PQ チェックシート（コピーしてお使いください）

試験頻度：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日付	質量検査	水分率検査	合否	検査者

5. 検査者

PQ は下記の検査者によって実施される。

検査者 1

部署名：

名前：

検査者 2

部署名：

名前：

検査者 3

部署名：

名前：

Copyright©2006 A&D Co.,Ltd.